横浜市立大学 大学院

# 国際マネジメント研究科

## 研究科案内

## 2025

ビジネスの
最先端を
リードする人材へ

YCU
横浜市立大学

# 「ビジネスの最先端をリードする人材へ」

近年のグローバル化による社会・経済活動の変化により、大学院は、新たな学問領域の創設や社会制度の変革の一翼を担う必要があります。

国際マネジメント研究科では、急速なグローバル化により、国際市場環境の直接的な影響を受けるようになった企業の環境に注目し、国際的な経済環境の変化を素早く合理的に分析し、的確な戦略を実行でき、企業の海外進出、特にアジアへの進出に重点を置き、本格的な海外展開を検討する企業およびこれらの企業を支援する組織に対して、国際的なマネジメントの知識、戦略およびセンスを備えた人材を育成します。

## 横浜市立大学沿革

明治　4年　仮病院設立
　　5年　横浜中病院開院。中病院を移転、横浜共立病院開院
　　7年　十全医院に改称
　　15年　横浜商法学校設立
　　21年　横浜商業学校に改称
　　24年　横浜市十全医院に改称
大正　6年　横浜市立横浜商業学校（Y校）に改称
昭和　3年　横浜市横浜商業専門学校（Y専）設立
　　8年　横浜経済研究所設置
　　19年　横浜市立経済専門学校に改称
　　横浜市立医学専門学校設置
　　横浜市立医学専門学校附属十全医院に改称
　　22年　旧制大学に昇格、横浜医科大学となる。
　　24年　新制大学として横浜市立大学設置（商学部）
　　横浜市立大学経済研究所に改称
　　横浜医科大学病院に改称
　　27年　文理学部設置
　　横浜市立大学と統合、医学部設置
　　29年　横浜市立大学医学部病院に改称
　　36年　大学院医学研究科（博士課程）設置
　　38年　教養部設置
　　41年　市立高等看護学校／市立准看護学校開校
　　45年　大学院経営学研究科（修士課程）、大学院経済学研究科（修士課程）設置
　　46年　市立高等看護学校／市立准看護学校を再編、医学部附属高等看護学校に改称
　　59年　財団法人木原生物学研究所より移管され、木原生物学研究所設置
平成　元年　大学院総合理学研究科（修士課程）設置
　　3年　大学院経営学研究科（博士後期課程）、大学院総合理学研究科（博士後期課程）設置
　　医学部附属病院、医学部附属浦舟病院開院
　　5年　大学院国際文化研究科（修士課程）設置
　　7年　文理学部を改組、国際文化学部・理学部設置
　　横浜市立大学看護短期大学部設置
　　8年　大学院国際文化研究科（博士後期課程）設置
　　9年　大学院経済学研究科（博士後期課程）設置
　　医学部附属高等看護学校廃止
　　10年　大学院医学研究科（医科学専攻／修士課程）設置
　　12年　医学部附属浦舟病院を医学部附属市民総合医療センターに改称
　　13年　大学院総合理学研究科（連携大学院／生体超分子システム科学専攻博士後期課程）設置
　　鶴見キャンパス設置
　　15年　大学院医学研究科（博士課程）再編
　　17年　公立大学法人横浜市立大学発足
　　商学部・国際文化学部・理学部の3学部を統合、国際総合科学部設置
　　看護短期大学部募集停止。医学部に統合し医学部看護学科を設置
　　経営学研究科、経済学研究科、理学研究科、国際文化研究科を統合、大学院国際総合科学研究科設置
　　教養部、経済研究所廃止
　　公立大学法人横浜市立大学附属病院、公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センターとなる
　　20年　看護短期大学部廃止
　　21年　大学院国際総合科学研究科再編、都市社会文化研究科、生命ナノシステム科学研究科、国際マネジメント研究科を設置
　　22年　大学院医学研究科看護学専攻（修士課程）設置
　　25年　大学院生命医科学研究科設置
　　30年　データサイエンス学部、大学院医学研究科看護学専攻（博士後期課程）設置
　　31年　国際総合科学部を再編し、国際教養学部、国際商学部、理学部を設置
令和　2年　データサイエンス研究科設置
　　5年　データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻（博士後期 課程）設置

## ■ 研究科長からのメッセージ

研究科長　白石　小百合

2024年４月現在、日本では、4年間に及んだ新型コロナウイルス感染症への社会的対応が終了し、経済活動はコロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあります。一方で、米中対立、ロシアと中東などの世界情勢の不安定化、AI技術の進展など、これまで以上に社会経済の変化が予想されます。社会科学を教育し研究する国際マネジメント研究科では、常に社会の現実に眼を向けその変化に敏感でありたいと考えます。

先行きが不透明な現代社会の中で、国際マネジメント研究科は、国際ルールに精通し、これにより市場環境や制度の変化に対応していくスキルを身につけている人材、グローバル化の中で企業全体のクオリティーを高めていける人材、および海外地域の産業集積を担っていける人材の養成を目的として2009年度に設置されました。2016年度からは、海外からも注目される日本のサービス・ビジネスについて専門的な研究を実施できるようにサービス・サイエンス研究プログラムを開設し、グローバル化を進める企業などでサービスのスペシャリストとして活躍できる人材養成に取り組んできました。

そして国際マネジメント研究科では、2021年度から、ソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム（SIMBA）を設置しました。横浜市にも社会課題が多く表出する中、こうした課題解決のスキルを習得し国際社会で活躍する人材を育成することを目的としています。さらに2024年度から、欧米や国内主要大学で採用されているコースワーク型の経済学教育を展開する、YCU EconMastersプログラムを新設し、経済学をベースに高度なデータ分析手法を駆使して地域社会のウェルビーイングに貢献する人材育成を目指します。

このように、本研究科は社会の要請に応じ、常にビジネスの最先端の諸課題に対応できる人材を輩出する教育・研究機関をめざしています。明確な研究課題を持ち、その課題解決のための旺盛な研究意欲を有するみなさんが、本研究科で研鑽を積み、ビジネスの最先端をリードする人材となることを期待しています。

## 教育・研究の特色

### 従来のマネジメント教育に加え、ソーシャル・イノベーション修士プログラム(SIMBA)を展開

SIMBAプログラムでは、社会課題解決をめざし、社会人と学生を対象とした、経営学・経済学の知識やスキルを習得するためのプログラムです。ヘルス領域、社会福祉領域、その他の公共サービス領域など社会的な諸課題に対して、データに基づく経営管理手法のスキルを活かし、地域社会で活躍する、幹部あるいは幹部候補のリーダーとして活躍する人材を育成することを目的としています。

### 経済学分野にYCU EconMastersプログラムを新設

国際マネジメント研究科の経済学分野（修士・博士課程）では、学部からの一貫教育によって、好調な就職（シンクタンク研究職、国立大学研究職など）や学会賞受賞などの成果がでています。そこで24年4月に、経済理論とデータ分析スキルの双方を備える人材＝デジタル人材を育成する新しいプログラム「YCU　EconMastersプログラム」を経済学分野に新設します。

### インターンシップ、フィールドワークの単位認定

実務を重視する立場から、海外展開を行っている企業や官公庁へのインターンシップや海外の市場調査または制度調査等のフィールドワークについても単位として認定しています。

# 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻

【入学定員と学位】

| | 入学定員 | 学　位 |
|---|---|---|
| 博士前期課程 | 20 名 | 修士（経営学または経済学） |
| 博士後期課程 | 3 名 | 博士（経営学または経済学） |

【カリキュラム構成と修了要件】

| | | |
|---|---|---|
| 博士前期課程 | 以下の科目群から30単位以上の取得、および修士論文の審査を経て修了します。 | |
| | 研究指導（8単位以上） | 修士論文作成に向けた研究指導を行う科目 |
| | 基礎科目（6単位以上） | マネジメント教育の前提となる基礎を固める科目 |
| | 応用科目（16単位以上） | 研究の深化およびキャリアデザインに関連した科目 |
| 博士後期課程 | 以下の科目群から20単位以上の取得、および博士論文の審査を経て修了します。 | |
| | 特殊研究指導（12単位以上） | 博士論文作成に向けた研究指導を行う科目 |
| | 専門応用科目（8単位以上） | 各分野の専門性を深めるための講義科目 |

## 履修モデル（博士前期課程）

以下に典型的な履修モデルを示しておきます。(1)はサービス・サイエンス研究プログラムを修了する場合、(2)はソーシャル・イノベーション研究プログラムを修了する場合、(3)は両プログラムを履修せずに修了する場合のモデルです。これらの例を参考にして各自の研究目的にあわせて、研究指導員と充分相談の上、履修する科目を決めてください。

### (1) サービス・サイエンス研究プログラムを修了する場合

**履修例1**

グローバルな視点を持って、情報、流通、製造、ヘルスケア、行政などのサービス分野全般における、専門的な知識とスキルを発揮できる人材の育成

| 学年 | 科目区分 | 科　目　名 | 単位数 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | ビジネス・マネジメント | 2 |
| | | マーケティング | 2 |
| | | 数量分析研究 | 2 |
| | 応用科目 | サービス・サイエンス | 2 |
| | | ヘルスケア・マネジメント | 2 |
| | | ヘルス情報マネジメント | 2 |
| | | グローバル・オーガニゼーションズ | 2 |
| | | サービス起業論 | 2 |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | 4 |
| 2年次 | 応用科目 | サービス・マネジメント | 2 |
| | | 公会計研究 | 2 |
| | | 消費者行動研究 | 2 |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | 4 |

**【修了後の進路】**
グローバル企業、シンクタンクの研究員、ITコンサルタント

**【研究テーマの例】**
製品メンテナンスにおけるサービス設計、コンビニエンスストアの業務プロセス改善

**履修例2**

進出国の企業会計のメカニズム、企業分析の手法と国際会計の知識を駆使して、資金調達と海外事業展開部門に会計サービスを提供できる人材の養成

| 学年 | 科目区分 | 科　目　名 | 単位数 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | 国際財務会計 | 2 |
| | | 数量分析研究 | 2 |
| | | ビジネス・マネジメント | 2 |
| | 応用科目 | 簿記システム研究 | 2 |
| | | 会計方法論研究 | 2 |
| | | 財務会計理論研究 | 2 |
| | | 戦略管理会計研究 | 2 |
| | | サービス・サイエンス | 2 |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | 4 |
| 2年次 | 応用科目 | サービス・マネジメント | 2 |
| | | 公会計研究 | 2 |
| | | 企業分析研究 | 2 |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | 4 |

**【修了後の進路】**
国際財務部門担当者、財務・会計コンサルタント、アナリスト、CFO

**【研究テーマの例】**
M&A実施後における収益性の分析

### (2) ソーシャル・イノベーション研究プログラムを修了する場合

**履修例3　社会人履修モデル**

| 学年 | 科目区分 | 24年度予定時限 | 科　目　名 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | 集中(土) | ビジネス・マネジメント |
| | | 平日(夜) | マーケティング |
| | | 集中(土) | 数量分析研究 |
| | 応用科目 | 集中(土) | ソーシャル・イノベーション |
| | | 集中(土) | 大学院特殊講義f・g(医療イノベーション経営) |
| | | 平日(夜) | 大学院特殊講義n,o(医療経営分析) |
| | | 集中(土) | ヘルス情報マネジメント |
| | | 集中(土) | サービス・マネジメント |
| | | 集中(土) | 大学院特殊講義h,i(社会科学方法論) |
| | | 平日(夜) | ヘルスケア・ポリシーまたはヘルスケア・エコノミクス |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | |
| 2年次 | 応用科目 | 集中(土) | サービス・サイエンスまたはヘルスケア・エコノミクス |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | |

**【修了後の進路】**
病院・介護施設経営、政策立案者、コンサルタント、非営利組織

**【研究テーマの例】**
サービス利用者数予測を踏まえた病院リソースの最適配置

**履修例4　院生履修モデル**

| 学年 | 科目区分 | 24年度予定時限 | 科　目　名 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | 平日 | ビジネス・マネジメント |
| | | 平日 | 数量分析研究 |
| | | 平日 | マーケティング |
| | 応用科目 | 集中(土) | ソーシャル・イノベーション |
| | | 集中(土) | 大学院特殊講義f・g(医療イノベーション経営) |
| | | 平日(夜) | 大学院特殊講義n,o(医療経営分析) |
| | | 集中(土) | ヘルス情報マネジメント |
| | | 平日 | 公会計研究 |
| | | 平日 | グローバル・サービス・マネジメント |
| | | 平日 | グローバル・マネジメント |
| | | 平日 | グローバル・ヒューマンリソース・ディベロップメント |
| | | 平日 | グローバル・オーガニゼーションズ |
| | | 平日 | 戦略管理会計研究 |
| | | 集中(土) | 大学院特殊講義h,i(社会科学方法論) |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | |
| 2年次 | 応用科目 | 集中(土) | サービス・サイエンスまたはヘルスケア・エコノミクス |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | |

**【修了後の進路】**
医療・福祉、国際非営利組織、地方・政府機関

**【研究テーマの例】**
わが国におけるメディカル・ツーリズムの確立における課題と「おもてなし医療」の潜在的可能性

# 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻

履修モデル（博士前期課程）

## （3）両プログラムを履修せずに修了する場合

### 履修例5

在外子会社（支店）の販売管理、市場調査、社内の情報技術や財務に精通し、在外子会社（支店）の業務を統括して、グローバル・ビジネスを展開できる人材の育成

| 学年 | 科目区分 | 科目名 | 単位数 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | ビジネス・マネジメント | 2 |
| | | マーケティング | 2 |
| | | 数量分析研究 | 2 |
| | 応用科目 | グローバル・マネジメント | 2 |
| | | グローバル・ストラテジー | 2 |
| | | ファイナンシャル・マネジメント | 2 |
| | | ヘルス情報マネジメント | 2 |
| | | グローバル・オーガニゼーションズ | 2 |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | 4 |
| 2年次 | 応用科目 | 財務会計理論研究 | 2 |
| | | グローバル・ヒューマン・リソース・ディベロップメント | 2 |
| | | 大学院特殊講義 | 1 |
| | | 大学院特殊講義 | 1 |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | 4 |

**【修了後の進路】**
在外子会社（支店）統括マネージャー、本社在外子会社（支店）管理部門スタッフ、CIO

**【研究テーマの例】**
アジアにおける生産拠点の確立から販売拠点確立へむけた課題

### 履修例6

ミクロ経済学、マクロ経済学を基礎に、統計データに基づいた市場分析が行えるアナリスト、費用対効果に基づいた事業運営が行える行政官を育成

| 学年 | 科目区分 | 科目名 | 単位数 |
|---|---|---|---|
| 1年次 | 基礎科目 | ミクロ経済学研究 | 2 |
| | | マクロ経済学研究 | 2 |
| | | 数量分析研究 | 2 |
| | 応用科目 | ゲーム理論研究 | 2 |
| | | 公共政策研究 | 2 |
| | | 財政学研究 | 2 |
| | | 金融論研究 | 2 |
| | | 大学院特殊講義 | 2 |
| | 研究指導Ⅰ・Ⅱ | | 4 |
| 2年次 | 応用科目 | 経済政策研究 | 2 |
| | | 国際貿易論研究 | 2 |
| | | ヘルスケア・エコノミクス | 2 |
| | 研究指導Ⅲ・Ⅳ | | 4 |

**【修了後の進路】**
大学院博士後期への進学、シンクタンクの研究員、行政官

**【研究テーマの例】**
非伝統的な金融政策と銀行の収益

## 修了後の主な進路　2021～2023年度博士前期・後期課程修了者

［就職］

ニトリホールディングス
株式会社ＮＴＴドコモ
株式会社マイナビ
株式会社みずほフィナンシャルグループ
富士通株式会社
楽天株式会社
株式会社ホンダカーズ横浜
中国銀行（BANK OF CHINA）
公立大学法人横浜市立大学
横浜市役所
国立大学法人一橋大学社会科学高等研究院
株式会社浜銀総合研究所

## 修士論文テーマ例　2023年度修了者

- 横浜市の小児救急拠点病院群の小児科における原価計算と経営改善のための政策提言
- 中日消費者におけるライブコマースの受容対比に関する研究
- 知覚リスクに対するユーザー生成型と企業主導型コンテンツの影響 ーオンラインショッピングを対象とした考察ー
- How does remote working affect Chinese employees's job satisfaction in Japan?
- 国公立病院における高性能CTの調達：ライフサイクルコストの導入の検討
- 障害のある従業員に関わるマネジャーのアイデンティティ変容
- 横浜市立大学生に向けた献血促進ナッジの研究
- Risk Premium in Foreign Exchange Rates: Evidence from Firm Survey Data
- Parental Preferences for Similarity over Child Gender

国際マネジメント研究科

# 教員紹介

## 岩佐　朋子 准教授
IWASA Tomoko

【担当科目】
〔博士前期課程〕
イノベーション

**連絡先**
E-mail：iwasa@yokohama-cu.ac.jp

**経歴・研究活動等**
英国サセックス大学　修士（国際経済学）
一橋大学経済学研究科博士後期課程　博士（経済学）
文部科学省科学技術政策研究所研究員として勤務
2004（平成16）年より現職

**研究テーマ**
企業の行動や戦略について経済学の視点から研究を行っています。特に、競争力の源泉であるイノベーションの問題や、需要の縮小に伴う産業構造の変化の問題に取り組んでいます。

**研究指導方針**
イノベーションに関わる諸問題を理解するために、経済学、経営学、統計学などの様々なアプローチが複合的に用いられる研究分野です。国内外で発表された先行研究をしっかりと踏まえた上で、現在起こっている応用問題に取り組んでいきます。

## 大澤　正俊 教授
OSAWA Masatoshi

【担当科目】
〔博士前期課程〕ビジネス法務研究
〔博士後期課程〕ビジネス法務特殊研究

**連絡先**
E-mail：osawa@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　320

**経歴・研究活動等**
1998（平成10）年　明治大学大学院 法学研究科 博士後期課程満期退学
1998（平成10）年　横浜市立大学 商学部 専任講師
2009（平成21）年より横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科 教授

**研究テーマ**
不動産の権利関係についての理論研究

**研究指導方針**
『ビジネス法務』の研究領域は広範多岐にわたるので、個々の院生の研究目的に合わせた研究指導を行う予定です。

# 教員紹介

## 大塚　章弘 准教授
OTSUKA Akihiro

【担当科目】
〔博士前期課程〕経済政策研究
〔博士後期課程〕経済政策特殊研究

### 連絡先
E-mail：otsuka@yokohama-cu.ac.jp

### 経歴・研究活動等
岡山大学大学院文化科学研究科修了。博士（経済学）。一般財団法人電力中央研究所を経て，2016（平成28）年より現職。

### 研究テーマ
都市経済学と地域経済学に関する実証研究。持続可能な地域経済システムとエネルギーに関する経済分析を実施しています。

### 研究指導方針
都市と地域の経済システムやメカニズムに興味を持つことが大切です。都市経済学と地域経済学の学術体系に則り、理論的検討を踏まえた実証研究を重視します。経済・産業データを収集し、研究仮説を立てて実証分析ができるよう指導します。

## 加藤　弘陸 准教授
KATO Hirotaka

【担当科目】
〔博士前期課程〕ヘルスケア・エコノミクス

### 連絡先
文科系研究棟　317
E-mail：kato.hir.lh@yokohama-cu.ac.jp

### 経歴・研究活動等
経歴：京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任助教、横浜市立大学国際商学部講師を経て、2024（令和6）年より現職。
研究活動（公刊論文）："Patient mortality after surgery on the surgeon's birthday: observational study," BMJ 2020など。

### 研究テーマ
医療経済学を専門としています。主に日米の大規模医療データ（レセプトデータ等）を用いて、医療供給者や患者の行動を検証したり、医療政策の評価を行ったりしています。

### 研究指導方針
医療経済学の理論や分析手法をしっかりと学んだうえで、実証分析を行ってもらいます。学生が自らの問題意識に基づいた良いリサーチ・クエスチョンを立て、優れた研究を行えることを目指して指導します。

## 柴田　典子 教授
SHIBATA Noriko

【担当科目】
〔博士前期課程〕マーケティング
〔博士後期課程〕経営学特殊研究

### 連絡先
E-mail：shiban@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　313

### 経歴・研究活動等
学習院大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学
修士号（経営学）。2002（平成14）年に本学着任。

### 研究テーマ
マーケティング論、消費者行動分析を専門とし、その中でもブランド論を中心とした研究、ケーススタディを行っています。象徴的消費にかかわる研究、特に「消費者行動における自分らしさ、自己表現」を自らの研究テーマとして取り組んでいます。

### 研究指導方針
実際のマーケティング事象に強い関心があることが重要です。そして、自分の問題意識を掘り下げて研究テーマを設定し、理論と実証の両面からどのようにアプローチしていくのか、じっくりと考えていく姿勢が求められます。

## 鞠　重鎬 教授
KOOK Joongho

【担当科目】
〔博士前期課程〕財政学研究
〔博士後期課程〕財政学特殊研究

### 連絡先
E-mail：kook@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　303

### 経歴・研究活動等
一橋大学経済学研究科博士後期課程修了。博士号（経済学）
一橋大学経済学部助手として勤務。その後韓国租税財政研究院（国策研究機関）の研究委員を歴任。1999（平成11）年より本学に赴任

### 研究テーマ
主な研究テーマは、「人的資本投資と租税政策」、「日韓の財政・租税体系の比較研究」、及び「地方税財政や政府間財政関係」に関する分野です。これらの研究テーマは、博士論文である『人的資本投資と租税政策の経済効果』（一橋大学）と、『韓国と日本の租税体系の特性に関する比較研究』（韓国の高麗大学）とに深く関わっていますが、最近では地方税財政の研究にも関心が深いです。

### 研究指導方針
研究指導の際、念頭に入れるべきことは、学生の現在のレベルより「少し上（slightly　more）」を目指すことだと思います。レベルが高すぎると興味がなくなりやすく、低すぎるとつまらないと感じやすくなるからです。この「少し上」を目指すことが研究指導方針です。

## 白石　小百合 教授
SHIRAISHI Sayuri

【担当科目】
〔博士前期課程〕数量分析研究
〔博士後期課程〕計量経済学特殊研究

### 連絡先
E-mail：shira@yokohama-cu.ac.jp

### 経歴・研究活動等
上智大学外国語学部卒。慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学。博士（経済学）。社団法人日本経済研究センター、帝塚山大学を経て、2007（平成19）年より現職。

### 研究テーマ
【行動経済学による幸福度研究、政策評価】
「あなたは全体的にみて幸せですか？」という問いを通して、人々の幸福感に対する個人の属性や社会的ネットワーク、政策の効果を研究しています。

### 研究指導方針
実証分析を行うに当たり、現実の経済社会への関心を大切にします。計量経済学は経済学と統計学の双方を用いて分析することから、基礎的な積み重ねを重視します。

## 随　清遠 教授
SUI Qing-yuan

【担当科目】
〔博士前期課程〕金融論研究
〔博士後期課程〕金融論特殊研究

### 連絡先
E-mail：usui@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　440

### 経歴・研究活動等
経歴：東京大学経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。
東京都立大学助手を経て、1993（平成5）年4月より現職。
研究活動：著書と論文："Money and Government: A Study of China and Japan from a Historical Perspective", 2022, Springer.
「銀行の配当政策と不良債権処理」、『金融経済研究』2018年vol.41、pp.19-39など。

### 研究テーマ
金融政策と銀行の産業別貸出。異なる局面における株価予測。金融危機時の景気対策と健全性維持のトレードオフについて。

### 研究指導方針
各自の研究テーマに即して関連研究の把握、理論モデルや分析ツールの理解、独自の分析と検証などを繰り返しながら、学術論文を作成してもらいます。

# 教員紹介

## 髙木　俊雄 教授
TAKAGI Toshio

【担当科目】
〔博士前期課程〕グローバル・ストラテジー
〔博士後期課程〕経営学特殊研究(B)

### 連絡先
文科系研究棟　332
E-mail：takagi.tos.hy@yokohama-cu.ac.jp

### 経歴・研究活動等
明治大学大学院経営学研究科博士後期課程満期退学。博士(経営学)。昭和女子大学グローバルビジネス学部を経て、2024(令和6)年より現職。経営戦略に関する研究のほか、PBL(Project Based Learning)の実施および効果に関する研究や産官学連携活動に関する研究を行っている。

### 研究テーマ
以下のテーマを中心に研究を進めているが、これ以外でも指導が可能な領域もあるので、必要に応じて相談してほしい。
・制度的戦略に関する研究
・制度および掲げられた表象と組織行為に関する研究
・PBL/産官学連携と人材育成に関する研究

### 研究指導方針
研究教育職をめざす学生、博士前期課程修了後に企業等に就職する学生であっても研究方法論および調査方法の習得は重要であると考えます。そのため、私の研究室ではこれらを十分に学んだうえで、各自関心を持つ対象に対して調査研究を行ってもらいたいと思います。

## 高橋　隆幸 教授
TAKAHASHI Takayuki

【担当科目】
〔博士前期課程〕税務戦略研究
　　国際租税法研究
〔博士後期課程〕会計学特殊研究

### 連絡先
E-mail：takahasi@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　334

### 経歴・研究活動等
中央大学大学院商学研究科博士後期課程退学
修士号(商学)
税理士業を経て
2000(平成12)年より本学に赴任

### 研究テーマ
租税法のうち、主に法人税・所得税といった所得課税を研究しています。租税が、納税者の行動・意思決定に与える影響の検証を試みています。

### 研究指導方針
修士課程1年次には、主に海外の様々な研究論文を読んで頂き、問題意識を養い、研究テーマを設定して頂きます。テーマ決定後は、論文執筆まで個別に指導します。

## 張　櫻馨 教授
CHANG Ying-Hsin

【担当科目】
〔博士前期課程〕国際財務会計
〔博士後期課程〕会計学特殊研究

### 連絡先
E-mail：chang@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　338

### 経歴・研究活動等
横浜市立大学商学部経営学科卒(学士(会計学))
横浜市立大学経営学研究科修士課程修了(修士(会計学))
横浜市立大学経営学研究科博士課程修了(博士(会計学))
2005(平成17)年　横浜市立大学准教授
2014(平成26)年　同教授

### 研究テーマ
専門は財務会計です。会計情報(日本、米国と国際財務報告基準)と経営者の情報開示戦略・投資家の行動との相互影響の解明を中心に研究を行っています。

### 研究指導方針
研究活動を進めていくにあたって、必要な文書力、情報検索力、データ分析力とプレゼンテーション力の養成に重点を置き、指導を行います。



## 中條　祐介 教授
NAKAJO Yusuke

【担当科目】
〔博士前期課程〕企業分析研究
〔博士後期課程〕グローバル・アカウンティング特殊研究

### 連絡先
E-mail：nakajoy@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　339

### 経歴・研究活動等
1992(平成4)年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得退学、横浜市立大学専任講師、2004(平成16)年同教授。2014(平成26)年国際総合科学部長、2019(平成31)年理事・副学長、日本経済会計学会副会長、2021(令和3)年日本ディスクロージャー研究学会会長(2024(令和6)年3月末まで)。現在、日本会計研究学会評議員、日本インベスター・リレーションズ学会副会長、総務省地方独立行政法人会計基準等研究会座長、総務省電気通信紛争処理委員会委員、証券アナリスト検定試験委員、横浜市信用保証協会外部委員ほか。

### 研究テーマ
(1)会計政策論(利益マネジメント研究)
(2)Non-GAAP指標の開示とその効果検証
(3)中期経営計画など非財務情報の研究
(4)財務諸表分析

### 研究指導方針
研究テーマの設定については、院生の自主性を重視します。設定された研究テーマについて60分程度の報告と、それに対する討議を繰り返し、学位論文を作成していきます。

## 長畑　周史 准教授
NAGAHATA Shushi

【担当科目】
〔博士前期課程〕
コーポレート・ガバナンス研究

### 連絡先
E-mail：nagahata@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　336

### 経歴・研究活動等
2008年慶應義塾大学大学院法学研究科　後期博士課程民事法学専攻単位取得退学。青森中央学院大学経営法学部 専任講師を経て2012(平成24)年より現職。2022(令和4)年4月ブリティッシュコロンビア大学ロースクール付属アジア法研究所客員教授

### 研究テーマ
商法(主に会社法)が私の専門分野です。現在は、内部統制と組織のガバナンスについて研究しています。

### 研究指導方針
経営学や経済学に共通する諸問題を法学的視点から検討します。受講者は法学部出身でないことを前提に、これまでの学習内容に法学的視点を取り入れ、さらに発展させられるように指導を行います。

## 中園　善行 教授
NAKAZONO Yoshiyuki

【担当科目】
〔博士前期課程〕マクロ経済学研究
〔博士後期課程〕経済学特殊研究

### 連絡先
E-mail：nakazono@yokohama-cu.ac.jp

### 経歴・研究活動等
経歴：東京大学経済学部経済学科卒業。東京海上日動火災保険、早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程、日本学術振興会特別研究員、早稲田大学大学院ファイナンス研究科助教を経て現職。博士(経済学)。
研究活動(公刊論文)："Strategic Behavior of Federal Open Market Committee Board Members: Evidence from Members' Forecasts," 2013, Journal of Economic Behavior & Organization, 93, pp.62-70.など。

### 研究テーマ
専門はマクロ経済学です。経済主体が形成する期待と実体経済の相互依存関係に関心を持っています。

### 研究指導方針
理論と実証のバランスの取れた研究指導を目指します。

## 中村　祐太 准教授
NAKAMURA Yuta

【担当科目】
〔博士前期課程〕ゲーム理論

### 連絡先
E-mail：y_naka@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　316

### 経歴・研究活動等
慶應義塾大学経済学研究科後期博士課程修了。博士(経済学)。
慶應義塾大学経済学部助教を経て、2020(令和2)年より現職。

### 研究テーマ
メカニズムデザイン/マーケットデザインというゲーム理論の応用分野を専門とし、オークションルールや選挙制度の設計に取り組んでいます。最近は、ブロックチェーン上の制度設計にも関心があり、これまでの学知をうまく活用できないか模索しています。

### 研究指導方針
経済理論の研究には数学的知識はもちろんのこと、定理の証明をクリアに書く能力が必須となります。したがって、修士課程1年次には数学と経済理論の基礎を学んでもらい、2年次以降は海外の先端論文を読み進め興味のあるテーマを各自で設定してもらいます。

# 教員紹介

## 根本　裕太郎 准教授
NEMOTO Yutaro

【担当科目】
〔博士前期課程〕サービス・サイエンス
サービス・マネジメント

### 連絡先
E-mail：nemoto.yut.wa@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　324

### 経歴・研究活動等
首都大学東京大学院システムデザイン研究科博士後期課程修了。博士（工学）。学位取得後、日本電気株式会社、東京都立産業技術研究センターを経て、2022（令和4）年9月より現職。サービス学会理事。

### 研究テーマ
専門はサービス学、デザイン学です。社会科学的アプローチと工学的アプローチの両輪で、次のようなテーマを研究しています。ウェルビーイング志向のサービスやデザイン方法論に関する研究／サービス組織におけるテクノロジー活用に関する研究／製造業のサービスビジネスに関する研究。

### 研究指導方針
サービス学は雑食な学問であり、様々な分野の知識を繋いでいくことで見えてくるものがあります。領域横断的な文献調査を通じて、各々が独自の知識ネットワークを構成し、密度の高い議論を展開できるよう指導します。研究指導もまたサービスであるため、その本質である価値共創を意識し、一緒に成果を創り上げていきたいと考えています。

## 原　広司 准教授
HARA Koji

【担当科目】
〔博士前期課程〕ソーシャル・イノベーション
〔博士後期課程〕経営学特殊研究

### 連絡先
E-mail：hara.koj.vv@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　311

### 経歴・研究活動等
大阪市立大学商学部卒。大阪市立大学大学院経営学研究科博士前期課程修了（経営学修士）後、京都大学大学院医学研究科医療経済学分野にて博士後期課程修了（社会健康医学博士）。京都大学を経て、2021（令和3）年より現職。

### 研究テーマ
医療経営、医療経済・政策に関する研究を中心に、介護や健康全般を対象とした研究も行っています。とくに、患者満足度およびQOLの測定と評価、組織文化、医療資源の地域差に関する実証研究に取り組んでいます。

### 研究指導方針
医療と経営学の融合を目指し、医療の特殊性を考慮に入れたうえで医療分野への経営学の知見の応用、発展を意図した研究を行ってもらいます。

## 藤﨑　晴彦 准教授
FUJISAKI Haruhiko

【担当科目】
〔博士前期課程〕
戦略管理会計研究

### 連絡先
E-mail：fujisaki@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　330

### 経歴・研究活動等
早稲田大学商学部卒。早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学（商学修士）。横浜市立大学商学部講師、助教授を経て2005（平成17）年より現職

### 研究テーマ
戦略的管理会計
現代企業経営に即した管理会計システムがどうあるべきか、主に戦略マネジメントシステムの観点から分析します。特に、1990年代以降のコストマネジメントシステムである活動基準原価計算（ABC）ならびに業績管理システムであるバランスト・スコアカード（BSC）適用に伴う組織文化への影響を考察します。

### 研究指導方針
学生自らが問題発見、問題解決できるよう、先行研究の精読を行うとともに、学部生とともに行う企業訪問や工場見学といったフィールドワークも取り入れた指導を行います。

## 三浦　敬 教授
MIURA Takashi

【担当科目】
〔博士前期課程〕簿記システム研究
〔博士後期課程〕財務会計特殊研究

### 連絡先
E-mail：takashim@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　340

### 経歴・研究活動等
1985（昭和60）年3月横浜市立大学商学部卒業。1987（昭和62）年3月横浜市立大学大学院経営学研究科修士課程修了（経営学修士）。1991（平成3）年3月一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得満期退学。（主要著書）『会計ディスクロージャーの新機軸』（共編著）（東京経済情報出版）、『財務会計論講義』（共編著）（東京経済情報出版）、『検定簿記講義2級商業簿記』（共著）（中央経済社）

### 研究テーマ
(1) 自主的会計ディスクロージャーの効果の分析
(2) 国際財務報告基準がわが国の会計実務に与える影響の分析
(3) 会計ディスクロージャーにおける会計情報と非会計情報の役割

### 研究指導方針
博士前期課程および博士後期課程ともに研究者の養成を研究指導の主眼としています。そのため博士前期課程では、研究のための基礎力の養成を目標に据え、博士後期課程では大学や研究機関で第一線の研究を進める上で不可欠な様々な能力の習得を目指します。

## 吉永　崇史 教授
YOSHINAGA Takashi

【担当科目】
〔博士前期課程〕グローバル・オーガニゼーションズ
〔博士後期課程〕グローバル・オーガニゼーションズ
特殊研究

### 連絡先
E-mail：tyoshina@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟　319

### 経歴・研究活動等
青山学院大学国際政治経済学部卒業。中央三井信託銀行株式会社での勤務を経て、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了。博士（知識科学）。北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター研究員、富山大学学生支援センター特命准教授を経て、2013（平成25年）に着任。

### 研究テーマ
多様性を志向する経営組織と、組織活性化のためのコミュニケーションについて、ナレッジ・マネジメント（知識経営）やナラティヴ（物語）・アプローチの観点から、質的研究手法に基づき研究を行っています。

### 研究指導方針
学生自らの問題意識に基づくリサーチ・クエスチョンの設定プロセスを重視します。その上で、先行研究レビュー、適切な研究手法（データ収集・分析方法）の選択、調査計画立案・実施、調査結果の考察、論文執筆について、対話を積み重ねながら指導を行っていきます。

## 和田　淳一郎 教授
WADA Junichiro

【担当科目】
〔博士前期課程〕公共政策研究
〔博士後期課程〕経済学特殊研究

### 連絡先
E-mail：wada@yokohama-cu.ac.jp
HP：http://juniwada.in.coocan.jp/

### 経歴・研究活動等
一橋大学経済学部、同経済学研究科を経て、ロータリー財団の奨学金により米国メリーランド大学に留学。Ph.D.1997（平成9）年開設の本学経済学研究科博士後期課程設置にあたっての文部省による教員審査においてDマル合判定。博士号授与者の中には、中国深圳大学、福島学院大学などの専任教員もおります。現在、公共選択学会会長、計量・数理政治学研究会幹事。

### 研究テーマ
公共選択論。主として選挙制度の研究

### 研究指導方針
公共部門に関わる現実的な政策課題にも対応しますが、オヤジ談義に堕ちないためにも、経済学のディシプリン、数理、計量分析をきちんと身につけることを要求します。

# 在学生からのメッセージ

木村（きむら）　渉（わたる）
国際マネジメント専攻
博士前期課程1年

### 卒業後の目標

卒業後は、学んできた会計や税務を生かした仕事に就きたいと考えています。理論や研究で学んだ知識は、実務に大いに繋がると考えているので、それを活かし学びと仕事に日々精進したいです。

### YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

より専門性を深め、社会に出たいと考えたため、5年一貫プログラムの早期履習を利用し、この研究科に進学しました。私は会計学専攻なのですが、経済、経営の分野の講義も積極的に受講することもでき、横断的に専門知識が身に付けられました。研究や講義を問わず、少人数での学びができ、先生や他の学生との距離感が近いため、能動的に頭を動かし考えられ、良かったです。

### 現在の研究テーマ、内容や状況

配当と自社株買いにおける課税が、企業や投資家の行動にどのような影響を与えるかを研究しています。株式会社や投資家は多額のお金を動かす分、受ける課税の額も大きいです。その中で、どのような影響や行動があるのか、統計ソフトや日経データベースを用いて、実証分析を行なっています。税務会計という税金×会計の2軸に渡り、専門性を深めている最中です。

### これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

都会から少し離れた静かで落ち着きのあるキャンパスで、少人数で学ぶことができ、学ぶには最適な環境だと思います。「専門性を極めたい、統計などを用いて研究をしたい」という方に是非お勧めしたいです。一人一人に優しくて優秀な先生方が、きっと温かく迎えてくれます。

■ 2023年度　時間割

前　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | 会計方法論研究 | | 上級会計学研究 | | |
| 2 | 財政学研究 | | | 数量分析研究 | | |
| 3 | コーポレート・ガバナンス研究 | 税務戦略研究 | | | | |
| 4 | | 国際財務会計 | | | | |
| 5 | | 卒業演習Ⅰ(学部) | | | | |
| 6 | | 研究指導 Ⅰ(院) | | | | |
| 7 | | | | | | |

後　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | 財務会計課題研究 | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | 卒業演習Ⅱ(学部) | | | | |
| 6 | | 研究指導 Ⅰ(院) | | | | |
| 7 | | | | | | |

楊（ヨウ）　旭（キョク）
国際マネジメント専攻
博士前期課程2年

### 卒業後の目標

今、就職活動をしています。将来、自分が勉強した専門知識を活かして社会で活躍できればと考えています。

### YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

個別の指導や密なコミュニケーションによって、より深く学び、成長したいため、YCUへの進学を決めました。それにより、教員との関係が密接になり、より充実した学習体験をすることができました。

### これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

経営学の基礎知識を理解することがとても重要なことだと思います。研究科の試験のためだけではなく、入学後の授業内容理解や論理理解の助けにもなると思います。

### 現在の研究テーマ、内容や状況

オンラインショッピングにおける色相が消費者行動に与える影響について研究しています。企業では、消費者行動の特徴を把握する課題が顕在化しています。特にオンライン・ショッピングで消費者は製品を直に触ることができないため、製品に関する情報は、視覚から得ることが多く、感覚的訴求の効果が重要な課題になっています。その中で私は、製品によって消費者の意思決定を下すルートが異なるという視点から、ECサイトで商品の色とECサイトの背景色が消費者行動に影響するかどうかを研究しています。

■ 2023年度　時間割

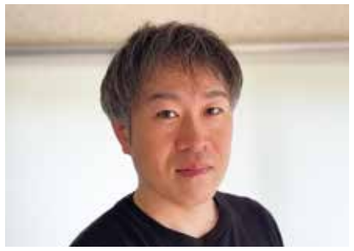
前　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | 数量分析研究 | | |
| 2 | | マーケティングリサーチ | マーケティング | グローバル・マネジメント | | |
| 3 | コーポレートガバランス | | 研究指導 | | | |
| 4 | | | 調査論方法 | | | |
| 5 | ビジネス・マネジメント | グローバル・オーガニゼーション | | 日本語キャリアデザイン | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |

後　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | サービス企業論 | 企業指導 | | | |
| 3 | | | 消費者行動研究 | | 日本語実践 | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | 日本語 | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |





髙橋（たかはし）　正徳（まさのり）
国際マネジメント専攻
博士前期課程2年

### 卒業後の目標

卒業後は博士後期課程に進学したいと考えています。研究を通じて専門知識を深め、世の中に貢献できるような研究を行いたいと考えています。

### YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由は、前年度にYCU病院経営プログラムを受講し感じた学びやすさが一番の理由です。授業の専門性や内容の深さもさる事ながら、先生方の人柄や授業の雰囲気がよく、学ぶ楽しさを実感しました。現在は、自分自身にカスタマイズされた研究指導を受けられることや同期生との密度の高いディスカッションが刺激になり、日々楽しんで研究や学びを深めています。社会人学生としても、受講しやすい環境だと感じます。

### 現在の研究テーマ、内容や状況

高齢化の進展により介護施設の役割が増大される中、高齢者の希望に沿った医療の提供や最期の迎え方ができる仕組みが必要と考えており“高齢者入所施設における救急搬送の基準とマネジメント”をテーマとして研究を進めています。今後、横須賀市や横浜市の高齢者入所施設を対象としたインタビュー調査を行い、M -GTA法による質的研究を行います。

### これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

国際マネジメント研究科は、社会人学生でも学ぶ楽しさを実感し、さらに追求できる環境が整っています。素晴らしい先生方や仲間との出会いがあり、新しい可能性を感じたり成長しあう貴重な場所です。ぜひチャレンジしてみてください!

■ 2023年度　時間割

前　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | 調査方法論 | | | マーケティング |
| 5 | | | 研究指導 | | | マーケティング |
| 6 | 数量分析研究 | | 研究指導 | | | |
| 7 | 数量分析研究 | | | | | |

後　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | サービス・サイエンス |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | 消費者行動研究 | | | |
| 4 | | | よこはま経営塾 | | | |
| 5 | | | 環境経済学研究 or よこはま経営塾 | | | |
| 6 | ヘルスケア・エコノミクス | | 研究指導 | | 社会科学方法論 | |
| 7 | ヘルスケア・エコノミクス | | | | 社会科学方法論 | |

後藤（ごとう）　耀（ひかる）
国際マネジメント専攻
博士後期課程2年

### 卒業後の目標

卒業後については、大学院で習得した専門知識を活かし、現職を続けるか、研究者として新たなキャリアを築くか、2つの道を考えています。

### YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

私は、学部から5年一貫プログラムで修士号を取得し、卒業後、社会人学生として博士後期課程に入学しました。横浜市立大学国際マネジメント研究科を選んだ理由としては、自身が慣れ親しんでいる環境であることも1つですが、少人数の大学であるため、先生方から手厚い研究指導が受けられるという点に惹かれたところが主な理由です。

### 現在の研究テーマ、内容や状況

研究テーマは「地方公共団体におけるデジタル化がマネジメント・コントロールに与える影響」です。昨今、話題になっているDXによる組織変革が組織に存在するマネジメント・コントロールにどのような影響を与えるのかを焦点にしています。なお、主な学問分野は、会計学における管理会計・公会計となります。現在は、地方公共団体を対象としたアンケート調査で得たデータを分析し、そこで得られた結果を学会で報告したり、論文の執筆を行っています。

### これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

私は、社会人学生として、昼間は勤務しつつ、大学院に通っていますが、国際マネジメント研究科は、研究に集中ができる環境が整っていると強く感じます。もし、研究に関心があるもしくは研究したいテーマがありましたら、自身のキャリア形成の一環としても、大学院に入学することをお勧めします。

■ 2023年度　時間割

前　期

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 特殊指導 研究Ⅰ | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | ビジネス法務特殊研究 | | | | | |

後　期

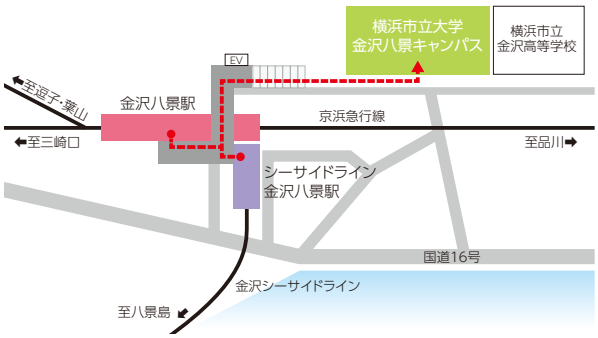
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 特殊指導研究Ⅱ | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |

YCU
横浜市立大学

横浜市立大学 大学院
国際マネジメント研究科

金沢八景キャンパス

京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分





横浜市立大学 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL:045-787-2055 FAX:045-787-2057 https://www.yokohama-cu.ac.jp/int_manage/


@yokoichi YCU_koho yokohama_city_university YokohamaCityUniv


［編集・発行］
横浜市立大学アドミッションズセンター

2024.05